

龍谷大学短期大学部に対する改善報告書検討結果

<認証評価実施年度：2020年度>

<改善報告書検討実施年度：2024年度>

龍谷大学短期大学部から改善報告書の提出を受け、本協会は改善に向けた短期大学全体の取り組み、1点の改善課題の改善状況について検討を行った。その結果は、以下のとおりである。

<改善に向けた短期大学全体の取り組み>

前回の機関別認証評価（短期大学認証評価及び大学評価）の結果を踏まえ、内部質保証の推進に責任を負う全学的組織である「全学大学評価会議」が中心となって、改善に取り組んでいる。2020年度末には、同会議において、評価結果を真摯に受け止め今後の改善の取り組みに活かしていく必要があるとの認識を共有し、指摘を受けた事項を含め、全学的な点検・評価である「組織としての自己点検・評価」のなかで改善を行っていくことを決定した。「組織としての自己点検・評価」において、改善すべき事項については、各部局・部署において改善計画の策定及びその計画に基づいた改善を行い、毎年2回「改善報告書」を通じて「全学大学評価会議」にその進捗・達成状況を報告することとしている。

上記のうち短期大学部における改善事項については、「短期大学部自己点検・評価委員会」及び「短期大学部執行部会議」にて検討を行い、短期大学部教授会を経て「改善報告書」を作成し、「全学大学評価会議」に報告している。2020年度の短期大学認証評価において改善課題であった単位の実質化についても、「全学大学評価会議」からの指示を受け、改善を行い、その方法と状況について報告を行っている。

上記のとおり、「全学大学評価会議」が中心となって改善に向けた取り組みを行っている。2026年の閉校まで時間は限られているものの、上述の内部質保証システムのもと引き続き単位の実質化に向けた措置を講じるよう、改善が望まれる。

<是正勧告、改善課題の改善状況>

提言の改善状況から、改善の成果が十分に表れているとはいえない。

改善課題に関し、単位の実質化の問題について、今後もさらなる改善に努めることが求められる。

個別の提言の改善に向けた短期大学の取り組みに対する評価は、以下のとおりである。

1. 是正勧告

なし

2. 改善課題

No.	種 別	内 容
1	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	社会福祉学科及びこども教育学科では、1年間に履修登録できる単位数の上限が80単位と高く、実際に相当数の学生の履修登録単位数が多くなっている。シラバスにおいて予習と復習の内容を記載しているものの、単位の実質化を図る措置は不十分であるため、単位制の趣旨に照らして改善が求められる。
	検討所見	1年間に履修登録できる単位数の上限の改正は実施していないものの、単位の実質化を図る措置として、履修要綱に「時間外における予習・復習の指示」を掲載し、成績評価の厳格化を図っている。しかしながら、50単位以上履修登録している学生の割合については、認証評価時に比してあまり減少しておらず、措置として十分であるとはいえない。 閉校までに履修登録可能な単位の上限数を改正することは難しいと思われるものの、単位の実質化を図るため、多くの単位を履修する学生に対して更なる措置を行うことが求められる。

<再度報告を求める事項>

なし

<弾力的措置にかかる要件の充足状況>

弾力的措置にかかる要件	前回の評価結果における提言	改善状況
ア) 基準2「内部質保証」に関し、是正勧告及び改善課題のいずれも提言されていない。	無	—
イ) 基準4「教育課程・学習成果」に関し、是正勧告が提言されていない。	無	—
ウ) 基準4「教育課程・学習成果」の学習成果の測定に関しては、改善課題も付されていない。	無	—

以上